

二〇二五年二月一日

苔庭の起伏にゆがむ枯木影	康子
径塞ぐ池塘の団栗畳かな	澄子
着膨れのハグで始まる待ち合はせ	うつぎ
山眠るぼつんと点る一軒家	やよい
池暮れて映す華燭の大聖樹	あひる
屋台みな路地へ湯気立て南京街	もところ
杣道に届く日のあり山紅葉	澄子
風の意に添ひてかつ散る色葉かな	康子
紅葉影踏む那智黒の小径かな	ぽんこ
介護者のフォローに笑顔園小春	せいじ
俳縁は良きもの老いの忘年会	うつぎ
ゴンドラに窓拭く影やビル小春	よう子
青年の真つ赤なマフラー席譲る	うつぎ
石庭の隅に主張す実万両	わかば
水脈長き鴨の推進力を見よ	えいじ
サンタクロース次々生まれ飴細工	うつぎ
冬ぬくし綺羅の海抱く漁師町	たか子

定例WEB句会みのる選

二〇二五年二月一日